

2022年6月17日

株式会社 日本経済新聞社

Nikkei Asia、アジア出版者協会賞で優秀賞

日本経済新聞社の英文媒体（Nikkei Asia）（<https://asia.nikkei.com/>）は16日、香港を拠点とするアジア出版者協会（SOPA）がアジア太平洋地域に関する優れた報道を表彰する2022年の協会賞において、評論部門で優秀賞を受賞しました。Nikkei Asiaの受賞は通算7回目となります。

評論部門で優秀賞を受賞したのは元HSBCアジア太平洋株式調査責任者のウィリアム・ブラットン氏による一連の寄稿。東アジア地域包括的経済連携（RCEP）の影響を分析した「China is the dragon that will consume Asia's economic future（RCEPの圧倒的勝者は中国）」では、「自由貿易によって経済システムの中核にある国（アジアでは中国）と周辺国の階層的な関係は固定化されかねない」と論じています。

The dragon ready to consume Asia

China will benefit from the RCEP agreement at the expense of all other members

WILLIAM BRATTON

William Bratton is the author of "China's Rise, Asia's Decline" published by Marshall Cavendish.

The signing of the Regional Comprehensive Economic Partnership has been accompanied by the usual excited commentary about how it will increase trade flows and boost the region's economic growth. But these banal platitudes overlook the long-term consequences of free trade -- and the reality that it creates winners and losers.

In RCEP's case, the benefits will flow primarily to China at the expense of the other participants. This process will entrench the country's status as

Asia's economic center, benefits that brings. Economically powerful rest of Asia has sat down to dine with a dragon that will start to consume its future. Policymakers from around the region need to think about how to deal with this -- and fast.

A little context is required here. First, within the boundaries of any defined economic system, facilitating trade does provide net benefits -- and these are often substantial. Indeed, the promise of increased trade flows and higher incomes is of course always one of the main attractions of a free trade agreement. And with several Asian countries having demonstrated the success of export-orientated growth models, it is no surprise that many policymakers across the region look to greater trade as a mechanism to drive economic development.

Second, the precedent set by Asia's earlier FTAs does, to some extent, justify the optimism about RCEP. Total merchandise trade between China and the 10-member Association of Southeast Asian Nations, for example, has grown by an average of 11% annually since the ASEAN-China FTA and its large-scale tariff reductions in early 2010. Similarly, the China-New Zealand FTA in 2008 resulted in total merchandise trade between the two countries expanding by 13%

ブラットン氏は経済地理学者として「十分な情報をもとに明瞭かつ現実的な論調で、アジアの長期的な経済、金融、政治の動向と軌道について、新鮮で刺激的な洞察をもたらした」（SOPA審査員）点が評価されました。

テクノロジー報道部門では、世界的な半導体不足に関連する一連の報道が最終選考に残り、3位を獲得しました。ハイテク分野を巡る米中対立が深まるなか半導体の内製化を進める中国当局や関連企業の動きを詳細に報じた「US-China tech war: Beijing's secret chipmaking champions (米中ハイテク戦争 北京の半導体製造の隠れた霸者)」(台北支局の鄭婷方記者、黎子荷記者)、世界的な半導体不足がIT(情報技術)、自動車産業などのサプライチェーン(供給網)にもたらす構造変化を追った「Apple's nightmare before Christmas: Supply chain crisis delays gift deliveries (クリスマスを前に近づくアップルの悪夢)」(鄭、黎両記者)、「Chipmakers' nightmare: Will shortages give way to a supply glut? (チップ製造メーカーの悪夢)」(田中暁人編集委員、鄭、黎両記者)が対象となりました。

受賞について奥村茂三郎編集長は「Nikkei Asia は 2021 年に SOPA 賞の参加カテゴリーをアジアのリージョナル(地域)メディアからグローバルメディアに格上げしました。2 回目の挑戦で入賞を果たし、欧米メディアによる賞の独占に風穴を開けたことをアジアメディアの一員として誇らしく思います」と述べました。「今回入賞した評論部門は地域メディアとして参加した 2015、2016、2018 年の 3 回にわたり最優秀賞を受賞しています。識者の見方や考え方を読者に示し、ニュースを深掘りする編集方針が支持された結果と受け止めています」とコメントしたうえで、「欧米主要メディアと競って最終選考に残った中国の半導体産業の分析記事も米中対立と世界的なサプライチェーン(供給網)再編という Nikkei Asia が最も取材に力を入れている分野の報道でした。Nikkei Asia は今後もアジアの声、アジアの鼓動をアジアから世界に伝えていきます」と話しました。

SOPA 賞はアジア太平洋地域に関する優れた報道を表彰するため 1999 年に創設され、今年で 24 回目となりました。アジア最高峰のメディア賞として広く知られ、グローバルメディア部門には、英 Financial Times、米 The Wall Street Journal や Bloomberg など世界の報道機関が数多く応募しています。

〈Nikkei Asia について〉

成長著しいアジアの経済圏の実像をアジアに籍を置く日本経済新聞ならではの視点で発信する英語のサービスです。アジアに密着した取材網を生かし、深掘りした独自記事を数多く公開。日経の翻訳記事も含め、経済の専門家による寄稿、知識人の洞察、見解、分析を交え、アジアのいまをお伝えしています。アジアの未来を担う世界中のリーダーたちや、アジアについて詳しく知りたいという方々のために、バイアスのない「真のアジア」を提供します。

日本経済新聞社について

日本経済新聞社は 1876 年以来、140 年にわたってビジネスパーソンに価値ある情報を伝えてきました。約 1500 人の記者が日々、ニュースを取材・執筆しています。主力媒体である「日本経済新聞」の販売部数は 181 万部、2010 年 3 月に創刊した「日本経済新聞 電子版」をはじめとするデジタル有料購読数は 92 万で、有料・無料登録を合わせた会員数は 500 万を上回っています。

本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 広報室 TEL:(03)3270-0251 (代表)